

## 盛川酒造（白鴻）醸造元

明治20年（1887年）の創業。

創業当時の代表銘柄は「盛鶴」でした。

創業以来百有余年に亘り、広島杜氏の伝統の技を守りながら酒造りを続けています。

「造り手の顔の見える酒造り」をモットーにされ、全国新酒鑑評会で幾度も【金賞】に輝く実績を持つ蔵は広島県南部の瀬戸内最高峰の野呂山（標高839M）の麓で源流である野呂川のほとりに位置しています。

蔵内で汲み上げる仕込水はこの野呂川の良質な超軟水を使用

広島一、二を争う程の超軟水で【白鴻】は醸されています。



蛍舞う自然豊かな野呂川



盛川社長



盛川酒造 玄関



盛川酒造 全景といっても奥が深い大きな蔵です



タンクの中でプチプチと発酵しています

